

レビー小体型認知症サポートネットワーク兵庫 第20回交流会 結果概要

I. 交流会の実施状況

交流会は、神戸学院大学サテライトキャンパスミント神戸 17階セミナー室 A で開催した。オンラインは用いず対面会場のみとした。参加者は 20 人であった。第 1 部の講演部分は尾寄遠見先生による『基本動作としての「歩行」、生活動作としての「歩くこと」』というタイトルで PPT を用いて講演および実演を含めて実施していただいた。第 2 部の語り合う場を属性別に 4 グループに分け、専門職の参加者は各グループに 1~2 名ずつ入ってもらい本人家族の話聞いてもらう形式とした。医師はグループをラウンドする形式とはせずに固定とした。

II. 交流会後の Google form によるアンケート回答状況

交流会に参加され、メールアドレスが把握できる方に Google form によるアンケート URL をメールで送信した。メールの送信数 14 件に対しアンケートに回答があったのは 9 件（回収率 64.3%）であった（家族参加の場合、申込者のメールアドレスのみに Google form の URL を送信。行政からの申し込みで複数参加の場合も申込 1 メールアドレスのみに送信したため、参加者総数よりもメール送信数が少なくなった）。

1. アンケートの回答状況

9 件の回答があり、うち女性が 8 人、男性 1 人であった。回答者の年代は 40 代が 1 人、50 代が 4 人、60 代 2 人、70 代 2 人であった。属性は、配偶者 2 人、子 4 人、医療関係者 2 人、介護関係者 1 人であった。居住場所は 9 件とも兵庫県であった。

2. 交流会をどのようにして知ったのか

「交流会案内のメールが届いた」が 2 件、「インターネットで交流会のパンフレットをみた」、「病院で交流会のパンフレットをみた」、「職場等所属機関で通知があった」、「知人・友人から聞いた」、「ケアマネジャーから聞いた」「主催者から聞いた」「覚えていない」がそれぞれ 1 件であった。

3. 講演部分の理解度および講演部分の満足度

「十分に理解できた」が 9 件であった。満足度については「非常に満足」が 5 件、「やや満足」が 4 件であった。

4. 交流会の満足度

「非常に満足」が 5 件、「やや満足」が 4 件であった。

6. 交流会での参加しやすさに関する感想：「まったくそう思わない」～「非常にそう思う」の 4 件法のリッカートスケールで尋ねた。

1) 「発言しやすかった」については「非常にそう思う」が 6 件、「まあそう思う」が 3 件であった。

2) 「緊張した」については「まあそう思う」がそれぞれ 1 件、「あまりそう思わない」が 4 件、「まったくそう思わない」が 4 件であった。

7. 交流会参加の感想および意見（アンケート回答 9 件中 6 件の記載があった）について一部抜粋し、以下に示した。

- ・ 医療関係者： レビー小体型認知症に限らずですが、一緒に暮らす家族の判断は最善と改めて感じました。
- ・ 家族：自分と同じようにレビーのご家族を介護している方とお話がしてみたいとずっと思っていたので、参考になることも多々ありましたし、励ましていただくこともあって心が救われました。
- ・ 家族：父が「知り合いができて楽しい」と言っていました。次回も参加させていただけたらと思っています。
- ・ 家族：第二部の語り合いの場は時間がもう少し長いと良いのでは、と思います。家族の介護者という立場で困難に直面している時に、実際に解決に至らなくても、同じ経験のある人と話ができるというのは本当に大きな意味があると感じました。それぞれ置かれる状況は違いますが、家族介護者としての経験や悩み、知識を共有することで、家庭での介護が少しぐらい楽になるような気がするのです。そういう交流の場がもっと持てると良いな、と感じました。
- ・ 家族：レビー小体型特有の悩みというより、介護者同士が共有できる現在の悩みを聞くことができ、交流会ならではの良さを感じました。